

臨床倫理検討シート

* 検討内容 **前向き**の検討
振り返る検討

検討の種類によって、どちらかを○で囲みます。
前向きの検討：「これからどうする？」を含む場合
振り返る検討：過ぎたことを省みて、今後に備える場合

記入例

〔ステップ1〕

記録有し 口付し 年 月 日

1-1 本人プロフィール

Aさん, 85歳男性 妻(80代前半)と二人暮らし. 息子夫妻(孫2人)が近所に住んでいる

1-2 経過

X年Y月Z日 嚔声により受診, 検査の結果喉頭がん(以下の説明に示すような進行状況)と診断.

同月Z+4日 主治医と本人・妻が面談. 担当看護師も立ち会った.

主治医の説明は: ①手術(失声, 永久気管孔を伴う)プラス放射線により, 根治手術とまでは言えないとしても, 相当程度人生の長持ちが可能であり, これが一般的には最善でしょう.

②放射線だけだと, そう遠くない時期に再発する恐れがあります.

③とくにガンに対抗する治療をしないでいくと, 必ず腫瘍が大きくなり, 嚔声がひどくなり, 呼吸困難になることが予想されます(こうなった場合には, 緩和ケアにより, できるだけ辛くないように努めますが).

本人は, 手術に伴う後遺症についてより詳しい説明を求め, 医師の説明を受けて, 「この歳になって術後のそういうつらさは耐えられないので, 手術は受けたくありません」と, 意向を表明した.

すると, 一緒にいた妻は, 「手術を受けて, 長生きして欲しい」と本人の翻意をうながした【tp】

- ・時間の流れに沿って、医学的なことも、コミュニケーションの流れも併せ記します。
- ・記されたことは〔事例報告者によるナラティブ〕です。報告者が一緒に検討をする参加者に知っておいて欲しいこと、が記されています。
- ・検討のための基礎になる部分です。参加者は事例全体の流れをつかみ、報告者が検討したいと思っている点を理解するとともに、自分なりに事例について考えはじめましょう。

- ・「分岐点」は別れ道ということです。
 - ・前向き
- の検討の場合、1-2経過の終わりのほうに、通常、「今後どうしたらよいか」と考えたいことが記されます。つまり、これから進む道が複数あると思われ、どの道を進んだらよいか考えなければならない状態です。経過の中に【tp】として示し、1-3にどういう分かれ道かを簡潔に示します
- ・振り返る検討の場合、「あの時、Aという選択をしたが、それでよかったか、他の道をとったほうがよかったのではないか」とひっかかっている点を分岐点とします。【tr】として示します。複数ある場合は【tr1】、【tr2】等。

1-3 分岐点

tp: 治療方針について意見の不一致(医師—本人, 本人—妻)がある. 今後どのように対応したらよいだろうか.

この場合、「今後どのように？」は、「どういう治療方針にするか？」と「どのようにコミュニケーションを進めて、合意を目指したらよいか？」と、二通りの問いを含んでいます。このケースでは、以下「治療方針をどうするか」を考えることから始めますが、常に「どのように？」という進め方も併せ考えることとなります。

【ステップ2】 情報の整理と共有【時点： / 選択の内容： 】

<p>A 医療・介護情報と判断</p>	
<p>2A-1 選択肢の枚挙とメリット・デメリットのアセスメント</p> <p>①手術プラス放射線</p> <ul style="list-style-type: none"> ○: 後遺症による辛さはあるが、それを克服できれば内容ある人生の延長が見込まれる。高齢による衰えも見込まれるので、最期まで再発しないで済むかもしれない。 ✖: 失声 & 永久気管孔による日常生活の辛さ・QOL低下 高齢なので術後の回復が遅く、年齢による衰えのほうが先にきまってしまうかもしれない。 <p>②放射線のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○: 治療中は辛いことがあるだろうが、手術による後遺症のようなことはないので、自宅でこれまでのような生活が可能。 ✖: そう遠くないうちに、再発する可能性があり、嚔声がひどくなったり、呼吸困難になったりする虞がある(緩和ケアで対応) <p>③経過観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ○: すぐ自宅にもどって、これまでの生活を続けられる ✖: 腫瘍は確実に増大して、辛い症状がでてくる(緩和ケアで対応)。生命予後もあまり多くは見込めない <div data-bbox="225 1010 976 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1-3 で挙げた分岐点について、現在思いついている選択肢を枚挙し、それぞれについて、良い点(メリット)と悪い点(デメリット・リスク)を○・×を頭に示しつつ枚挙します。</p> </div>	<p>2A-2 社会的視点から</p> <p>(目下の事例に関連する社会資源の活用、法やガイドライン、社会通念、資源配分の公平さ、第三者への影響等)</p> <p>「手術によって人生を長持ちさせることができるのなら、やるべきだ」という判断・評価は、現在でも一般市民の多くが持っている。85歳であるといっても、その他の点ではかくしゃくとしていけば、勧める人も多いだろう。失声・永久気管孔という副産物によるQOLへの影響がどれほど考慮されているかは、医師がこの点を適切に説明しているかどうかと連動する。そして、どのように説明するかは、医療はどうあるべきかに関する社会の通念(医療に関する文化)に相対的である。</p> <div data-bbox="1018 909 1441 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目下の問題について、社会を見渡す視点でこの欄上方の()内に挙げたような点で留意すべきことがあったら、記します。</p> </div>
<p>2A-3 説明 本人に対して</p> <p>2A-1 の内容を話した</p>	<p>家族に対して</p> <p>席で説明 ∴ 本人と同内容</p>
<p>B 本人・家族の意思と生活</p>	
<p>2B-1 本人の理解と意向</p> <p>・説明をよく理解したと思われる</p> <p>・術後の失声・永久気管孔について「もっと若ければ別だが、この歳になってそのような状況で生きるのはつらいだけ」と、手術には否定的</p> <div data-bbox="188 1659 754 1787" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本人は目下の問題についてどう理解しているのでしょうか。またどのような希望・意向をもっているのでしょうか</p> </div>	<p>家族の理解と意向</p> <p>・説明は一応理解しているが、夫にできるだけ長く生きてほしいという思いがベースになっている模様</p> <p>・「お父さんそんなこと言っても、死んじやったら仕方ないじゃないの」と翻意をうながす</p> <p>夫が、手術によって日常生活に差し障る状況になることを訴えても、「それでも死ぬよりはまし」と応じている。</p> <p>・息子夫妻の意向はまだ聞いていない</p> <div data-bbox="834 1715 1409 1809" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>左欄で本人について記した点と同様のことを家族について記します</p> </div>
<p>2B-3 本人の生き方、価値観や人柄について(これらに関係するかもしれないエピソードなど)</p> <p>・本人は定年まで高校教師(生物)をしており、定年後は社会活動が続ける傍ら、園芸や畑仕事を趣味にしていた。読書が好きで、「広く世界を知る」ことを目指して、割と固い傾向のものを読んでいる。</p> <p>・妻「これまで夫になんでも頼ってやってきたので、いざ倒れると、どうしたらいいか戸惑ってしまうのよ。」</p> <p>(以上、担当看護師がそれぞれ本人から聞き取り)</p> <div data-bbox="754 1962 1441 2134" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目下の問題について以外のことで、本人の人生や生き方について(関係あると思ったら、家族についても)聞き取ったことをメモしておきます。本人にとっての最善を考える上で参考になるかもしれません</p> </div>	

【ステップ3】 検討とオリエンテーション —記入の仕方—

ステップ1と2を見て、検討した上で、そこで見えてきた困った点や話し合いたい点を念頭において、ステップ3に進みます。検討シートステップ3には各項目に[A1][B2]等の記号がついています。これは検討の順序を表しています。

- ・[A]系、[B]系、[E]系：それぞれ [A1] ⇒ [A2]、[E1] ⇒ [E2] ⇒ [E3]等の順に検討します。
- ・まずは、[A]系から始める、その後[B]系の検討をするのがお勧めです。しかし、[B]系のほうが気になるような場合、[B]系⇒[A]系の順序で検討を進めても大丈夫です。
- ・[C][D]は[A]系、[B]系の後でも前でも構いません。初めはABC順で検討することにするのが楽です。
- ・[A]～[D]までの検討をした上で、最後に[E]系の検討をします。



〔ステップ3〕 検討とオリエンテーション —記入例—

